

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1955
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.48, No.5 (1955. 5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19550501-0081

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

本號は本學の經營・會計・商業科目の關係者をわすらわして「經營學特集」とした。當初特定のテーマ、例えば「經營學の最近の動向」といったようなものをえらんで、經營學の各分野からこれを描き出すということも考えたが、折悪しく學年末多忙の際でもあり、安易をまぬがれなかつたがテーマは關係各執筆者の自由におまかせした。次の機會には統一テーマで總合研究的なものにして見たいと思つてゐる。

戦後十年、經濟學のいづれの分野においてもそうであると思うが、經營學關係についてもかなり大きな變遷をたどつた。經營學は經濟學の中では最も新しい分野の一つであるだけに、戦前には概してドイツ經營學を中心とする輸入學的傾向が一般であつたが、戦後の數年間、アメリカ占領下ではドイツ文獻の輸入が殆どなかつたことも関連して、アメリカ經營學の植民地ともいえる状態に陥つていたことは否定できない。しかし最近三、四年來漸く一方にドイツ文獻の輸入紹介が復活したとともに、數年間のアメリカ經營學の研究もある程度の收穫をもたらしたし、また戦後の最大の特徴の一つは労働階級の力の増大にもなつて經營學の上にもマルクス主義的立場を確立しようとする若干の努力が現れたことである。そしてこれらの入り亂れた潮流の中にあつて、本學の經營學は塾特有の「實學」の精神に立つて、これらの諸潮流の成果を攝取しつつも着實な實證的合理主義的あり方をうち出すことに努めてゐることは、本特集號の諸論文にもうかがわれるところと信ずる。

(森五郎)

昭和三十年四月二十五日印刷
昭和三十年五月一日發行

第四十八卷 定價 七〇圓
第五號 送料 八圓

編輯者 東京港區芝三田慶大經濟學部内
氣賀健三

印刷所 東京港區芝三田豐岡町八
川書印刷株式会社
川口芳太郎

豫約購讀料

一年分 金八四〇圓(送料共)
半々年分 金四二〇圓(〃)

發行所

東京港區芝三田二丁目
慶應義塾大學經濟學部研究室内
慶應義塾經濟學會